



取り扱い製品のご案内



Leaf / USB CAN

1Ch/2Ch/4Ch CAN to USB Interface

高速 CAN バスネットワークに接続する最適なソリューション
様々なアプリケーションに対応する、多彩なコネクタバリエーション

Memorator

1Ch/2Ch/5Ch CAN Datalogger to USB

スタンドアロンで使用できる CAN データロガー
高速 CAN バスネットワークへのインターフェイスとしても使用可能

高電圧環境に欠かせないガルバニック絶縁
Pro グレード CAN FD 対応

U100

NEW

single channel CAN/CAN FD to USB

過酷な環境でのアプリケーションに適した
シングルチャンネル CAN/CAN FD to USB インターフェイス

- ・ 電機回路保護、耐振動、耐衝撃、耐落下性ハウジング
- ・ IP67/ 強化版ガルバニック絶縁
- ・ CAN FD 通信速度 最大 8Mbit/S
- ・ DSUB9 以外のコネクタにも取替可能
- ・ インテリジェント LED UI



Air Bridge/Black Bird/ EtherCAN

Air Bridge

2つの移動体間での CAN ブリッジ、
有線接続では難しい環境へ対応

Black Bird

WiFi を使用した CAN 通信監視が可能

EtherCAN

インターネットを介し、世界中どこからでも
CAN データにアクセス可能



Memorator 用 SD カードや延長ケーブル等アクセサリ類もお取り扱いございます。

Kvaser CAN通信製品によって 様々な産業のCANデータに簡単にアクセス可能



航空



農業



自動車



医療



掘削



電気自動車



FA



海洋



ロボット



太陽光



バス・トラック



バッテリー管理



鉄道

Kvaser が 選ばれる理由

Kvaser のCAN関連製品は、市場に出回っている他のCAN関連製品とは大きく異なります。Kvaser はいつも使う側 = エンジニアのことを最優先に考えて設計を行っています。Kvaser のインターフェースとデータロガーは、軽量で持ちやすく使いやすく、そして耐久性のある優れた製品です。



世界をリードする CANの開発会社

Kvaserは30年を超える開発の経験と、60種以上の製品のラインナップを誇ります。研究開発及び生産は主にスウェーデンで行われ、常に使用するエンジニアの使い易さを第一に考えた製品設計で、世界中のCAN通信に携わるエンジニアを支えています。自動運転車や電気自動車等、今後の需要が見込まれる自動車開発をメインターゲットとし、FA、医療、太陽光電池等CAN通信が使用される様々な場面で使用されています。



スウェーデンでの研究開発と グローバルコラボレーション

Kvaserは、エンジニアのニーズに合わせてカスタマイズされた革新的なCAN製品を開発することをモットーに、幅広い経験と専門知識を蓄積してきました。R&D投資へのコミットメントと有力テクノロジー企業との戦略的コラボレーションによって、「CANといえばKvaser」と知られるようになりました。



エンジニアのニーズを 満たすように設計された製品

Kvaserの目的は、革新的でコスト効率の高いCANソリューションの大手プロバイダとして認められることです。お客様とパートナーの声に耳を傾け、問題と課題を理解し、革新的な思考と経験に焦点を合わせてお客様のニーズを解決するよう努めています。

■ カタログ・資料請求・お問い合わせは info@ibsjapan.co.jp までお問い合わせください。

IBS Japan
アイ・ビー・エス・ジャパン株式会社

<https://www.ibsjapan.co.jp/>

E-mail: info@ibsjapan.co.jp

営業時間(土日・祝日を除く)9:00 ~ 17:30

■ 厚木センター

〒243-0432 神奈川県海老名市中央2-9-50 海老名プライムタワー12F
TEL:046-234-9200 FAX:046-234-7861

■ 東京システムセンター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-4-9 NMF新宿南口ビル2F
TEL:03-5308-1177 FAX:03-5308-1188

■ 大阪営業所

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-6 新大阪橋本ビル4F
TEL:06-7176-9191 FAX:06-7176-9192

IBS-202107-KVASER

※掲載されているイラスト・画像についての著作権は各社メーカーに帰属します。
※記事内容(日本語翻訳分)についての著作権はアイ・ビー・エス・ジャパン株式会社帰属します。
※製品内容・製品仕様は、予告なく変更いたします。最新情報については、お問い合わせください。